

礼拝プログラム □主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 …………… 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 …………… 53番
- *交読文 …………… 2番
- *使徒信条 …………… 会衆一同
- *頌栄 …………… 13番
- 礼拝のための祈り ……… 働き人 川合ゆきえ
- 賛美 …………… 446番
- メッセージ …………… モルデカイ - 滞っていた報いが返って来る時(エステル 6章)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 521番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告と歓迎 ……………
- *主の祈り …………… 会衆一同
- *祝祷 …………… パスター

祈禱課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- 終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

悲しむ____に喜びを与え、灰にかえて冠を与え、悲しみにかえて喜びの油を与え、憂いの心にかえて、さんびの衣を与えさせる。… ____は主の祭司となえられ、われわれの神の役者と呼ばれ、もろもろの国の富を食べ、____の宝を得て喜ぶ。____は、さきに受けた恥にかえて、二倍の賜物を受け、はずかしめにかえて、その嗣業を得て楽しむ。それゆえ、____はその地であって、二倍の賜物を獲、とこしえの喜びを得る。主なるわたしは公平を愛し、強奪と邪悪を憎み、真実をもって____に報いを与え、____と、とこしえの契約を結ぶからである。… ____の子孫は、もろもろの国の中で知られ、____の子らは、もろもろの民の中に知られる。すべてこれを見る者は____が主の祝福された民であることを認める。____は主を大いに喜び、____の魂は____の神を楽しむ。主が____に救の衣を着せ、義の上衣をまとわせて、花婿が冠をいただき、花嫁が宝玉をもって飾るようにされたからである。(イザヤ61章)

私達が王なるキリストを喜ばせるために「宴会」をもうける時、すなわち、キリストの花嫁としてのアイデンティティを身に帯び、「悔い改め」「主の御声に聞き」「主の御心を行う」という、主の喜ばれる「ごちそう」を用意して備えるなら、主はどのようにしてくださるのか。引き続きエステル記から続けて学びたい。エステルは願い事を申し上るのをさらに一日ひき延ばした事によって、その晩、二つの出来事が起こる。その一つは前回見たが、もう一つは、王がその晩眠れず、年代記を読みなおした事だった。

その年代記の中から、モルデカイがかつて為した功績が発見され、その事で彼にはまだ何の昇進も栄誉も与えられていなかった事も分かった。せっかく良い事をしたのに、すぐに報いられず、忘れ去られてしまったのは、その時は災いに思えたかもしれない。しかし主のなさる事は、時に適って美しいのだ。ハマンがモルデカイを吊るし上げようと上奏しに来るそのまさに直前、王は発見した。王はモルデカイに、どのような栄誉を与えようかと思案しているタイミングでハマンが来たので、丁度良いとばかりに相談する。「王が栄誉を与えようと思う人にはどうしたらよからうか。」ハマンは自惚れ、てっきり自分に栄誉が与えられると思い、自分がされて欲しい事を申し述べた。彼は王服を着て、王の馬に乗りたかったのだが、あいにく、王が栄誉与えようとしたのは、モルデカイで、その通り違わずに彼に実行せよ、との命令が下された。あわやの所で形勢は逆転した。ハマンはモルデカイ一人の存在で全てが台無しになってしまう程憎く殺したかったのだが、王は彼の手でモルデカイに栄誉を与えさせ、こうして彼の頭に積んだ炭火を爆発させた。主の民と、その敵の関係も、同じ事が起こる。**敵は、主の民を訴え、罪定めし、木に吊して殺したいのだが、王なるキリストは主の民を弁護し、滅びから救い出し、敵の手を用いて逆に栄誉を与えられるのである。**もはや彼の当初の願い、モルデカイを木にかけて殺そうなどは、上奏できなくなってしまった。

イザヤ61章に記されている通り、主は、主の民で悲しむ者には喜びの油を与え、灰に代えて冠を、憂いに代えて賛美の衣を与え(同3節)、低くされている者を高く引き上げ、**報われずにいた者には、報いられていなかった期間分を、倍にして報いられる。**(7節)なぜなら主は、公義を愛する主であり、**不法な略奪を憎む**からだ。主は誠実を尽くして報いられる。(8節)『彼らの子孫は諸々の国の中で知られ、彼らの子らは諸々の民の中に知られる。全てこれを見る者はこれが主の祝福された民であることを認める。わたしは主を大いに喜び、わが魂はわが神を楽しむ。主がわたしに救の衣を着せ、義の上衣をまとわせて、花婿が冠をいただき、花嫁が宝玉をもって飾るようにされたからである。』(9-10節) この通りにモルデカイは王服を着せられ、頭には王冠が与えられた。主に依り頼んでいる人が、たとえ灰や荒布をまとっていても、主は卑しめられている民をいつまでも放って置く事はしない。モルデカイがハマンの手によって王冠、王服が与えられ、栄誉の伝令で告げ広められたように、**私達も、敵の面前で油注がれ、宴を設けられ、敵が蓄えた栄誉や富を、そのまま引き渡されるのだ。**悪者は自分のために富を蓄えるが、実はそれは、御心に吐う人に渡すための積み立てなのだ。(伝 2:26)モルデカイは、神の民としてのプライドを貫き通し、ハマンが権力を乱用して民族虐殺を企てられた時でも、それに屈しなかったから、このような栄誉が与えられたのだ。私達もそれにならない、神の民としてのプライドをいつも持ち、悪をもって悪に報いず、いつも善をもって悪に打ち勝つものでいたい。

ハマンは悔しがった。ゼレンシュや知者達は、モルデカイがユダヤ人なら勝てないと言ったが(13節)、彼らは知っていたのだろう。神の民は、神に誠実に仕えている限り、向かう所敵なしである事を。この地上で、強く安定している人とは、権力者や金持ちではなく、主に望みを置き、昼も夜も主を呼び求めている人である。だから私達は、権力者や金持ち以上に、日夜主を呼び求めている孤児や寡婦のほうを恐れるべきである。なぜなら彼女達は、全地を創られた主以外に、頼る所・訴えどころが無いからだ。モルデカイ連ユダヤ人も、主のみ望みを置いて、求めていた。だから痛快なまでに形勢逆転し、ハマンは坂道を転げ落ちるような様に落ちぶれて行く。私達も、神様の民として誠実を尽くしているなら、たとえ今低くされていても、必ず主が顧みてくださり、ちょうど良い時に引き上げてくださる。喜びの時も、悩みの時も、主に信頼して歩み、必要な時には助けを得て、地上で榮えていく皆さんでありますように！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → <http://ustre.am/Ydeh> (Yは大文字)

日曜礼拝

1部礼拝	10:30
食事/フェローシップ	12:00～
2部礼拝(韓国語通訳有)	14:00
聖書の学び会(詩篇)	15:00

金曜徹夜祈禱会 21:00～

日々の集会

月～金	早天祈禱会	5:00～
火・木・金	賛美と祈りの集会	13:00～
火～木	夜の祈禱会	19:30～

水曜集会

1部	13:00～
2部	19:30～

アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト